

## ドラマと真実

四万十市長 田 中 全

本市を舞台に連続テレビドラマがつくられます。タイトルは「遅咲きのヒマワリ〜ボクの人生、リニューアル〜」。フジテレビ（共同テレビ）制作。10月から毎週火曜日夜9時放送。県内では高知さんさんテレビで放送されます。

映画やテレビドラマを誘致することは、観光PR等地域活性化のための起爆剤になることから、本市としても「龍馬伝」を誘致した実績のある高知県観光コンベンション協会（フィルムコミッション）と連携をして、関係方面にその働きかけをしてきました。そうした中、このほど制作会社から、本市でロケが可能か打診があり、何度もテレビ局スタッフと協議、打ち合わせをしたうえで、全面協力を約束しました。

フジテレビでは、かつて北海道富良野を舞台に名作「北の国から」を制作しました。今度は西日本の大自然を舞台にして、地方で生活をし、悩みながらいろんな問題に向き合っていく若者群像を描きたいと、各地を調査した結果、四万十川という自然があり、中山間地対策や地域医療を守る課題に取り組んでいる本市がピッタリということになったのです。

本市では、8月から「地域おこし協力隊」3名を都会地から採用しました。また、市民病院では9月から地元出身の泌尿器科医師（中尾昌宏先生）が帰ってきてくれました。ドラマ脚本はオリジナルであり、このような内容も盛り込まれる見込みです。

主人公（出演者・生田斗真）は、四万十市の「地域おこし協力隊」に応募し、東京から移住をしてくる青年です。東京での生活に将来の夢を見つけられず、カヌーに興味をもっていたからでもあります。相手役（同・真木よう子）は、これも東京の大学病院から市民病院に帰ってくる地元出身医師です。この若い2人を軸に、同世代の友人たちを絡めてドラマは展開していきます。

「どこか懐かしく、だけど、現代の日本を映し出す、新しい群像ドラマ」「将来への不安を持ちながら、毎日変わらない生活を送る若者たち。そして彼らを取り巻く人々。その街に、ある男が移住してきたことで何かが変わり始める」という企画です。

過疎、高齢化が進む中山間地域の問題やその中で市民病院が果たすべき役割などもテーマとして扱われますので、市民のみなさんもごらんになり、一緒に考えていただきたいと思います。

「龍馬伝」では実際のロケは県内ではほとんど行なわれませんでした。このドラマでは9月中旬から市内各所でロケが行われます。テレビドラマでこれだけのロケ隊が入るのは、本市でははじめてのことです。四万十市は実名で登場し、四万十川や中村の町の風景がふんだんに紹介をされる予定です。出演者はほかに、国仲涼子、木村文乃、桐谷健太、香椎由宇、柄本佑などです。

フジテレビの夜9時台のドラマと言えばゴールデンタイムです。本市の映像が全国に流れることは、観光面でも大きな追い風になります。

ドラマの成功に向けて、市民のみなさんのご協力をよろしくお願いいたします。

広報四万十「市長談話室」  
(2012年9月)

「遅咲きのヒマワリ ～ ボクの人生、リニューアル～」  
公式ホームページ

[http://www.fujitv.co.jp/sozakino\\_himawari/index.html](http://www.fujitv.co.jp/sozakino_himawari/index.html)

(↑クリックすると公式ホームページが開きます)